

令和5年度 学校評価（自己評価・学校関係者評価）

赤穂市立有年中学校

1 本年度の学校経営方針

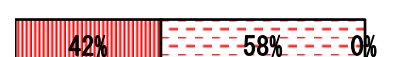
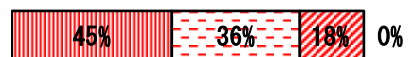
◆学校教育目標	「志」高く、学ぶ意欲と思いやりの心が充ちる生徒の育成 ～夢の実現に向かって、明るく、やさしく、誠実に行動～
◆基本方針	(1) 「笑顔」・「あいさつ」・「やさしさ」があふれる生徒の育成に努める。 (2) 協同して考えを深める学びを構築し、向上心と豊かな人間性を養う。 (3) 「夢」と「志」を持ち、よりよい生き方を求めて挑戦する「勇気」と「行動力」を培う。 (4) 有年中学校生徒であることに「誇り」を持ち、郷土を愛する心を育む、魅力ある学校づくりに努める。

2 本年度の学校努力目標

(1) 【豊かな心】の育成	～人権感覚・人権意識を基盤とした学校文化を創造する～
(2) 【確かな学力】の育成	～学ぶ意欲、思考力を育てる授業づくりを推進する～
(3) 【すこやかな体（心身）】を培う	
(4) 【自主自律の精神】の育成	～真心を持ち物事に誠実に取り組む、主体的な生徒を育成する～
(5) 特別支援教育の充実	
(6) 魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを進める	

3 自己評価結果（A～D） A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった 学校努力目標

NO	評価項目	A	B	C	D
1	災害が起きた時を想定し、避難方法を具体的に話しをしている。	5 45%	4 36%	2 18%	0 0%
2	生徒が安心して生活できる居場所づくりを進めている。	7 58%	5 42%	0 0%	0 0%
3	生徒の気持ちに寄り添いながら話を聴くことを大事にしている。	4 33%	8 67%	0 0%	0 0%
4	生徒がいじめや暴力のない学校生活を送れるように取り組んでいる。	5 42%	7 58%	0 0%	0 0%
5	生徒にわかりやすい授業ができるよう工夫している。	5 45%	6 55%	0 0%	0 0%
6	授業の改善のため工夫を続けている。	7 64%	4 36%	0 0%	0 0%
7	生徒の発言を大切にし、質問しやすい授業を心がけている。	6 55%	5 45%	0 0%	0 0%
8	生徒の話しをよく聞いて、考え方や意見を認めてから指導することを心がけている。	5 42%	7 58%	0 0%	0 0%
9	進路について考える機会を提供している。	6 55%	3 27%	2 18%	0 0%
10	思いやりの心や命を大切にする学習を機会あるごとにしている。	6 50%	5 42%	1 8%	0 0%



総合的な学校関係者評価

- 学校はとても努力してくれていると思う。
 ○ 「やることを精選していく」という言葉の通り先生の負担を減らせていって欲しいです。
 ○ 有年中学校は、生徒の数が少ないからこそ、他の学校では体験できないようなことをたくさんさせてもらって充実した生活を送れていると思います。
 ○ 多くの人と関わり、様々な人とのふれあいの中で価値観の多様さを学ぶ機会ともなる「地域で見守る」という姿勢で中学生とかかわることとお互いに親しみや理解も深まる。そうした安堵感といったことで日々の生活の充実にもつながると思われる。「地域で育てる」という気持ちで今後かかわっていければと思う。
 ○ 有年中生の礼儀正しさにはいつも感心させられます。地域の方との距離が近い、少人数の学校の特性を生かし、色々な年齢の方とコミュニケーションが取れる環境を続けて頂きたいです。
 ○ 私生活での経験は限られている。そしてその経験からの考えも限られる。多くの経験を得るとすれば、その方法として先人たちの経験したこと、考えを語った本を読むのが最適だと思います。どんな本でも何か得るものがあるはずです。それによって進路も決めることもあります。本を読ませて下さい。何でもいい雑学でも歴史書でもきっと本人には役立つと思います。

<調査人数> 12

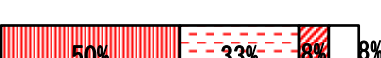
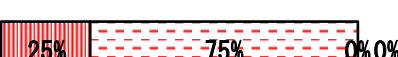
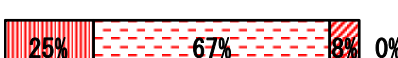
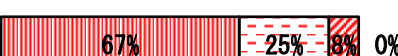
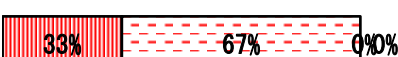
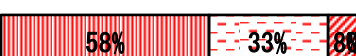
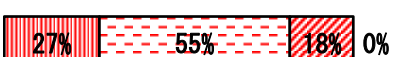
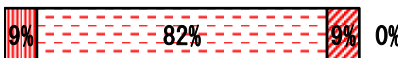
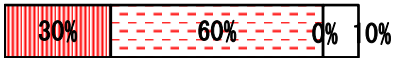
学校関係者評価

◎適切である ○ほぼ適切である △あまり適切でない ×適切でない

分析と改善の方策	自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度の具体的改善方法
（１）【豊かな心】の育成 ～人権感覚・人権意識を基盤とした学校文化を創造する～ 【成果】 ・いじめや暴力に不安を感じず、安心して学校生活が送れている。 ・学校行事や生徒会活動で自分の役割を果たしている。 【課題】 ・教師や友だちに相談しにくい生徒が少数だがいる。 ・学校のことを家族とあまり話をして居ない生徒がいる。 【改善の方策】 ・学校や地域の行事に参加し様々な人とふれあうことで、相手を思いやる心を育てる。 ・行事や活動を協働で行い、信頼関係を気づき安心して話せる環境を作る。 ・学校行事やオープンスクール、通信等を活用して学校での様子を知らせ、話すきっかけを作る。	◎	◎	○ 少人数の学校なので、先生方の目が一人ひとりに行き届いているため、生徒が安心して学校生活を送れている。 ○ 命の大切さや人権についての学習をする機会をもう少し増やして欲しい。 ○ 自分の思いを伝えることが苦手な生徒もあり、中学校の3年間では、なかなか発揮されない場合もある。逆に表面的な活発さで自分の思いを表現できないこともある。長い目で見守り成長の過程をとらえるおおらかさを周囲が持てるようにしたい。
（２）【確かな学力】の育成 ～学ぶ意欲、思考力を育てる授業づくりを推進する～ 【成果】 ・授業改善の工夫を行っており、生徒も授業は分かりやすいと感じている。 ・授業にまじめに取り組んでいる。 【課題】 ・分かりにくいときに質問しにくいと感じている生徒が1／3程度いる。 ・今学んでいることが進路や将来にどのように役立つのか目的を持っていない生徒がいる。 【改善の方策】 ・分かりにくいときに、質問できる授業の雰囲気を作っていく。 ・互いに質問や意見を出す、ともに学び合う授業の構築。 ・進路選択だけでなく、将来の社会の姿、必要な力、学びを考えるキャリア教育の充実。 ・働く大人にゲストティーチャーとして来てもらい、働く事のやりがい、苦労等を聞き、将来の目標に向けた学びにつなげる。	◎	◎	○ 得意な生徒が、苦手な子に教える時間もあれば良いのでは。 ○ 授業が分かりにくいと感じている生徒、保護者もそれを感じているようなので授業の中で質問する時間や場を作ってもらえたらと思う。（生活ノートなどにも） ○ きめ細かな指導ができる特性を生かし、基礎学力の充実のため今後も指導していただきたいと思う。 ○ 幼い頃からお互いによく知っているメンバーで、多くの生徒たちと切磋琢磨する経験は日常的に難しいかもしれないがオンライン等の活用等も取り入れ他校との交流を図る機会も検討頂きたい。

<有年中>学校評価(自己評価・関係者評価)

N0	評 価 項 目	A	B	C	D
11	振り返りの機会を計画的に行っている。	7	2	2	0
		64%	18%	18%	0%
12	運動の大切さを理解させ、体を動かすように工夫している。	3	4	2	2
		27%	36%	18%	18%
13	部活動で、連帯感、成功感を味わせ、興味を持たしている。	2	6	1	1
		20%	60%	10%	10%
14	部活動では「技」だけでなく、心の成長を大切にする指導を行っている。	3	6	0	1
		30%	60%	0%	10%
15	生徒は毎日喜んで登校している。	1	9	1	0
		9%	82%	9%	0%
16	楽しいクラスづくりに取り組んでいる。	6	5	0	0
		55%	45%	0%	0%
17	友の大切さ、ありがたさ等をよく話している。	3	6	2	0
		27%	55%	18%	0%
18	努力することの大切さを指導している。	7	4	1	0
		58%	33%	8%	0%
19	間違っった行動に対して、わかりやすく指導している。	4	8	0	0
		33%	67%	0%	0%
20	学校行事や生徒会活動等での体験活動を多く経験させ、豊かな心を醸成している。	8	3	1	0
		67%	25%	8%	0%
21	生徒にはわかりやすく、ていねいな言葉で接している。	3	8	1	0
		25%	67%	8%	0%
22	自他や家族を大切にし、楽しく生きることがを指導している。	3	9	0	0
		25%	75%	0%	0%
23	習慣の意味や重要性について、生徒に啓発している。	6	4	1	1
		50%	33%	8%	8%



●新たな課題と方策 ◆昨年度からの継続課題と方策

分析と改善の方策
(3) 【すこやかな体（心身）】を培う
【成果】 ・部活動を熱心に指導しており、生徒もおおむね積極的に参加している。 ・結果だけでなく、努力したことを認め、指導している。 ・朝ご飯を食べて登校している。
【課題】 ・部活動に積極的に取り組めていない生徒もいる。 ・おおむね体を動かすことが好きだが、にがてな生徒もいる。
【改善の方策】 ・「早寝、早起き、朝ご飯」運動を継続し、健康な体作りを行う。 ・勝敗のみにこだわらず、技術が向上したこと、目標を達成したことへの充実感を味わわせる指導を継続する。 ・仲間と共に活動する喜びを味わわせ運動することの楽しさを体験させる。

(4) 【自主自律の精神】の育成 ～真心を持ち物事に誠実に取り組む、主体的な生徒を育成する～
【成果】 ・ノーチャイム精神を生かし、気づき、考え、行動しようとしている。 ・清掃活動、整列した駐輪等、周りの人のことを考え行動できている。
【課題】 ・一部、清掃活動や相手を思いやった行動ができていない生徒がいる。 ・家庭では、自ら進んで行動できていないところがある。
【改善の方策】 ・清掃にしっかりと取り組み、環境がきれいになる事はみんなが気持ちよく生活できることにつながる事を指導する。 ・様々な人とのふれあいを通して、周りの人のこと思いやる気持ちを育てる。 ・委員会活動を活性化し生徒1人1人に役割を持たせ、責任感、自主性を身に付ける。

(5) 特別支援教育の充実
【成果】 ・安心して学校生活が送れている。 ・人権について学習を深め、一人ひとりを大切にして生活している。 ・特別支援教育についての研修を深め、個々の特性に寄り添った指導を心がけている。
【課題】 ・様々な生徒の特性に応じた支援の仕方をより多く習得する必要がある。 ・普通学級に在籍する支援が必要な生徒に応じた支援・課題を与える必要がある。
【改善の方策】 ・継続的に特別支援についての研修を行い、生徒の特性に応じた対応ができるようにする。 ・生徒に応じた学習や課題の出し方を工夫していく。

◎適切である ○ほぼ適切である △あまり適切でない ×適切でない

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度の具体的改善方法
◎	◎	○ 部活動やクラブ活動にまじめに取り組んでいる生徒がほとんどだが、あまりやほとんど取り組めていない生徒もいるので、悩みなどあれば聞いてあげて欲しい。 ○ 家庭での基本的生活習慣の充実が反映されており、今後も地域全体での「早寝・早起き・朝ご飯」が「当たり前」のこととして定着して欲しい。 ○ 部活動の地域への移行……まだまだ難しい問題(会場・送迎・活動方法)が多いと思われる。今後も検討を重ねて無理のない範囲で進めて頂きたい。

◎	◎	○ 登下校の際の挨拶、歩道を通る際に待っている車に対する会釈、身についた生徒の行為にふれて普段の学校での指導の成果を感じている。 ○ 人数が少ないことで一人ひとりの役割も大変かと思われるが責任感を持つことの貴重な機会ととらえて頂きたい。 ○ 地域の私たちも含めて、周りの大人の行動、相手を思いやる行動を心がけたいと思います。 ○ ノーチャイム精神、正々堂精神は、大人になってからも、大切なことなので継続していった欲しいです。
---	---	---

◎	◎	○ 特別支援学級の生徒も安心して学校生活を送って欲しい。 ○ 一人ひとりが「かけがえのない存在」であること、誰もが安心して学校生活が送れる「権利」を有していること、当然のことであるが、その当たり前のことを当たり前として日々過ごすことができているか、折にふれて反省することが大切である。これは特別支援教育だけでなく全体に共通することであり、これからも考え続けていかなければならない課題だと言える。
---	---	--

●新たな課題と方策 ◆昨年度からの継続課題と方策

分析と改善の方策
（6）魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを進める
【成果】 ・コロナが5類になり、地域行事に生徒が参加できるようになり、活躍する場面が増えた。 ・気持ちの良いあいさつをする事ができる。 ・正々堂々正しいことを行うことができる。（正々堂精神）
【課題】 ・学校の様子等、家族と話すことが少ない生徒がいる。 ・地域の活動や親子ふれあい行事に参加しにくい生徒もいる。
【改善の方策】 ・生徒、学校の様子を見ていただけるように、授業参観日、オープンスクール、学校行事に保護者を含め地域の方にも来ていただき学校の様子を見ていただく。 ・中学生が地域で活躍できるように地域行事に参加できるようにする。

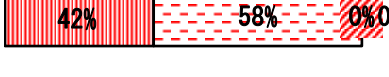
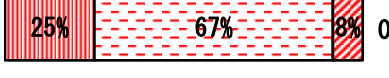
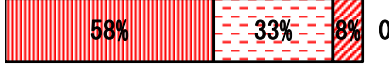
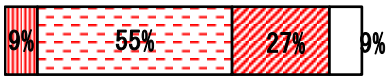
（7）全体を通して
【成果】 ・多くの行事をコロナ前と同様に実施することができた。 ・長年にわたり取り組んでいる「正々堂精神」「ノーチャイム精神」等の学校の伝統を意識して生活できている。 ・交通安全教室で実際に自転車に乗り行うことで事故防止への意識、運転技術向上、安全に対する意識の向上が図れた。 ・災害時の対応を実際に行うことにより実践する力がついた。
【課題】 ・おおむね良好な評価が多いが、その中に、楽しく登校できていない生徒や悩みを友だちに相談しにくい生徒がいる。 ・授業が分からないときに質問しにくい生徒や自主的に行動できていない(保護者アンケートより)生徒がいる。
【改善の方策】 ・自主性を育てるために、支援が必要なときに支援できるよう準備しながら、生徒の学びを見守り助言を与え、主体的に学びを深められるよう体制を作る。 ・経験や活動する場面を増やし、多くの人とかかわり、様々な経験を通して自信や自分の気持ちを育てる。自主的に取り組む姿勢につなげる。

◎適切である ○ほぼ適切である △あまり適切でない ×適切でない

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度の具体的改善方法
◎	◎	○ 有年中の伝統でもある正々堂精神、ノーチャイム精神を生徒全員が意識して生活しているのは素晴らしいことだと思います。 ○ 地域の歴史を学ぶ機会を検討して頂きたい。（赤穂義士にとどまることなく、「有年」の歴史を学び、地域に対する理解を深める機会を。戦時中の生活、更には戦後の昭和30年代の生活、水害の経験など、豊富な「教材」があると思われる。） ○ 年齢を問わずふれあうことは、今後のコミュニケーション能力を養うことにつながるので地域行事に積極的に参加できる環境にして欲しいです。

◎	◎	○ 「コロナ」による自粛期間を経て、以前に戻した方が良いことと、これを機に削減、あるいは無くても良いものが見直されたことと思う。そのことを踏まえ、有年中の伝統を「かけがえのないもの」として今後取り組んで頂きたいと思う。 ○ 校区を貫通する国道2号線の危険性を登下校時の自転車通学・防犯面から引き続きご指導頂きたい。 ○ スマホの使用、SNSの利用、外からは見えにくい危険性が増してきた昨今、その活用方法等、見直す機会をご注意頂きたい。
---	---	---

N0	評価項目	A	B	C	D
24	地域の行事やPTA活動に積極的に参加し、保護者地域との関係作りを心がけている。	1	6	3	1
		9%	55%	27%	9%
25	自分からあいさつすることを心がけている。	12	0	0	0
		100%	0%	0%	0%
26	社会規範を育てるように指導している。（正々堂精神）	7	4	1	0
		58%	33%	8%	0%
27	主体的に行動できる生徒の育成を考えた指導をしている。	3	8	1	0
		25%	67%	8%	0%
28	自他の考えを認め、尊重する学校づくりに努めている。	5	7	0	0
		42%	58%	0%	0%
29	清掃指導、環境整備をよくしている。	5	6	1	0
		42%	50%	8%	0%
30	自転車を整然と駐輪ができている。（徒歩通学は除く）	8	3	0	0
		73%	27%	0%	0%



自己評価における特記事項

・学校としても、生徒・保護者としても、概ね良好な状態だと考えられる。 ・子どもたちに様々な体験をさせたい。 ・少しずつコロナ前の取組、行事を実施できている。学校や地域で子どもたちが輝く姿が多く見られるようになればと思う。 ・生徒の回答と保護者の回答に若干ズレがある項目がある。学校や生活のことをあまり話していない生徒もいるので、家族とのコミュニケーションを大切にしたい。 ・ユニバーサルデザインの授業を心がける必要がある。 ・やること、対応することが多すぎてなかなか余裕がない。やることを精選していく必要がある。

評価項目以外の来年度の課題や具体的改善方法

○ 学校が楽しくなるような行事、球技大会等学年以外の人との交流もあればと思います。 ○ コロナも落ち着き、学校行事や地域の行事も戻りつつあるので、どんどん活躍して欲しい。 ○ 部活も勉強も両立して楽しく学生生活を送って欲しい。 ○ 日々の学習活動に加えて年間行事、更には地域の活動と中学校の生徒の皆さん、先生方に一層の多忙を強いることになる事は本末転倒である。あくまでも無理のない範囲で進めて頂ければと思う。日々の地道な積み重ねが一番重要で、その成果が後に実を結ぶことになる。すぐに結果が出ること、評価されることにとらわれず、長い人生の中「かけがえのない」中学校生活にできる事に集中して取り組んで頂きたい。
--